

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成21年11月15日

## 【評価実施概要】

|       |                                  |       |             |
|-------|----------------------------------|-------|-------------|
| 事業所番号 | 0172000986                       |       |             |
| 法人名   | ミツモトハウス株式会社                      |       |             |
| 事業所名  | あすなるの家                           |       |             |
| 所在地   | 小樽市幸2丁目2番3号<br>(電話) 0134-21-6800 |       |             |
| 評価機関名 | 有限会社 ふるさとネットサービス                 |       |             |
| 所在地   | 札幌市中央区北1条西5丁目3 北1条ビル3階           |       |             |
| 訪問調査日 | 平成21年11月9日                       | 評価確定日 | 平成21年12月23日 |

【情報提供票より】 (平成21年10月22日事業所記入)

### (1) 組織概要

|       |                  |        |                       |
|-------|------------------|--------|-----------------------|
| 開設年月日 | 平成 18 年 3 月 21 日 |        |                       |
| ユニット数 | 2 ユニット           | 利用定員数計 | 18 人                  |
| 職員数   | 16 人             | 常勤     | 16人, 非常勤 0人, 常勤換算 15人 |

### (2) 建物概要

|      |             |       |     |
|------|-------------|-------|-----|
| 建物構造 | 鉄筋コンクリート 造り |       |     |
|      | 3階建ての       | 1 ~ 2 | 階部分 |

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

|                     |                  |                |                                    |
|---------------------|------------------|----------------|------------------------------------|
| 家賃(平均月額)            | 45,000 円         | その他の経費(月額)     | 光熱水費 18,000 円<br>暖房費(10~4月)10,000円 |
| 敷金                  | 有 ( 円) ・ (無)     |                |                                    |
| 保証金の有無<br>(入居一時金含む) | 有 ( 円) (無)       | 有りの場合<br>償却の有無 | 有 / 無                              |
| 食材料費                | 朝食               | 円              | 昼食 円                               |
|                     | 夕食               | 円              | おやつ 円                              |
|                     | または1日当たり 1,100 円 |                |                                    |

### (4) 利用者の概要 ( 10月 22日現在 )

|       |         |      |      |    |      |
|-------|---------|------|------|----|------|
| 利用者人数 | 18 名    | 男性   | 1 名  | 女性 | 17 名 |
| 要介護1  | 4 名     | 要介護2 | 7 名  |    |      |
| 要介護3  | 6 名     | 要介護4 | 0 名  |    |      |
| 要介護5  | 1 名     | 要支援2 | 0 名  |    |      |
| 年齢    | 平均 85 歳 | 最低   | 79 歳 | 最高 | 97 歳 |

### (5) 協力医療機関

|         |                           |
|---------|---------------------------|
| 協力医療機関名 | 高橋医院、おたるイクリニック、兵藤歯科、三ッ山病院 |
|---------|---------------------------|

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

眺望の優れた高台に系列グループホーム及び小規模多機能事業所とともに位置する当ホームは、介護事業に熱意を持つ運営者の姿勢が職員のケアサービスにも反映され、利用者は明るく安心して暮らしています。ホームは地域との連携も重視し、ホーム主催のあすなる祭には周辺住民の方々もイベントに参加し好評をいただいています。優れた管理者やケアマネージャーのもと、職員同士の人間関係も良好なことから、利用者を含めてホーム全体に明るい雰囲気があり、利用者の生活に家族も満足しています。

## 【重点項目への取組状況】

|      |   |  |
|------|---|--|
| 重点項目 | ① | 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)<br>前回評価の改善課題の人材育成、避難訓練、重度化方針の共有などは、ミーティング等で検討しながら、より良い方向に向けて取り組み、実行されています。<br>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)                         |
|      | ② | 自己評価作成は、職員全員が参加して各人が気付いた事項を記入しながらまとめています。自己評価結果からの課題は、全員で検討し、改善するよう取り組んでいます。   |
| 重点項目 | ③ | 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)<br>運営推進会議は、2ヵ月毎定期的に開催して各種報告事項や避難訓練などホーム運営への協力要請、参加者からの質疑や要望などの意見交換が行なわれています。参加者からの意見や要望はホーム内部で協議し、ケアサービスに反映させるよう取り組んでいます。 |
|      | ④ | 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)<br>家族からの苦情、意見、要望等は、家族来訪時にお聞きするなど、把握して家族の「来所記録」に記載しています。記録内容をミーティングなどで検討し、内容に応じて対応するようにしています。                                   |
| 重点項目 | ④ | 日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)<br>ホームは、地域との交流を開設当初から積極的に進めています。系列グループ全体で毎年開催の「あすなる祭」では野菜や食べ物販売、ボランティアによるショーなどもあり、大勢の周辺住民の方々を訪れて、お祭りを楽しむなど地域との連携が進んでいます。                    |

## 2. 評価結果（詳細）

| 外部評価                         | 自己評価 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ○印<br>(取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------|------|---|---|----------------------|-----------------------------------|
| <b>I. 理念に基づく運営</b>           |      |   |   |                      |                                   |
| <b>1. 理念と共有</b>              |      |   |   |                      |                                   |
| 1                            | 1    | ○地域密着型サービスとしての理念<br>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている    | ホームは、開設当初の運営理念に、職員も参加しながら地域との関わりを重視した理念を追加しました。この理念のもとに利用者が日常生活において地域とふれ合いながら、安心して暮らせるよう支援しています。            |                      |                                   |
| 2                            | 2    | ○理念の共有と日々の取り組み<br>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる                       | 理念を入口ホールや休憩室に掲示し、毎月開催するフロアミーティングにおいても理念に基づくケアサービスのあり方を話し合うなど、職員全員の共有となっています。                                |                      |                                   |
| <b>2. 地域との支えあい</b>           |      |   |   |                      |                                   |
| 3                            | 5    | ○地域とのつきあい<br>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | ホームは、地域との交流を積極的に進めており、系列グループが毎年開催する「あすなる祭り」では野菜等の販売やお菓子のつかみ取り、ボランティアによるフラダンスなどが人気を呼び、大勢の地元住民の方々が訪れて楽しんでいます。 |                      |                                   |
| <b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b> |      |   |   |                      |                                   |
| 4                            | 7    | ○評価の意義の理解と活用<br>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる   | 評価の意義と必要性は、職員全員が理解しており、各職員が評価項目の気づき部分を記入し、最終的に計画作成者と管理者がまとめて作成しています。評価結果の課題はミーティングで検討しながら、改善するよう努めています。     |                      |                                   |

小樽市 あすなるの家

| 外部評価                   | 自己評価 | 項目   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ○印<br>(取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)  |
|------------------------|------|--|---|----------------------|--|
| 5                      | 8    | ○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている              | 運営推進会議は2ヵ月毎定期的に開催し、ホーム運営状況や行事实施状況などを報告しています。さらに、ホームに関する質疑応答も行ない、参加者からの意見等はホーム内部で検討しながら、利用者へのサービスに活かすよう努めています。 | ○                    | 運営推進会議のメンバー構成は、町内会代表2名以外はホーム関係者で少ない人員です。今後は、行政関係者、教育関係者、民生委員などメンバーの増員を期待します。 |
| 6                      | 9    | ○市町村との連携<br>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる                               | 市の担当者は、年1度生活保護者の確認で来訪しますので、その際に種々の相談を行なっています。また、市の担当者へもホーム便りを持参し、情報交換を行なうなど行政との連携を保ちながらサービス向上に活かすようにしています。    |                      |  |
| <b>4. 理念を実践するための体制</b> |      |  |   |                      |  |
| 7                      | 14   | ○家族等への報告<br>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている                              | 家族の来訪時に職員から利用者の日常生活の様子や健康状態を話しています。また、毎月発行のあすなる便りにホームの様子を写真で伝え、通信欄には利用者一人ひとりの状況を記載しています。                      |                      |  |
| 8                      | 15   | ○運営に関する家族等意見の反映<br>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                                | ホーム運営等の意見や不満等は、職員から管理者またはケアマネージャーに報告し、「来所記録」にも記載しています。意見等があった際には、ミーティングなどで協議しながら対応するようにしています。                 |                      |  |
| 9                      | 18   | ○職員の異動等による影響への配慮<br>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | 最近、ホームでは離職者が殆どありませんが、運営法人内の他の施設へ異動などがある場合は、馴染みの職員が中心となってフォローしており、ダメージなどの問題は発生していません。                          |                      |  |

| 外部評価                             | 自己評価 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ○印<br>(取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)                                       |
|----------------------------------|------|---|---|----------------------|---|
| <b>5. 人材の育成と支援</b>               |      |   |   |                      |   |
| 10                               | 19   | ○職員を育てる取り組み<br>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画を立て、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている                 | 職員を育てる取り組みは、ホーム内の研修委員会が年間計画を立て、2ヵ月毎に法人内他施設を含めた全体研修を実施しています。外部研修も、内容に応じてその都度職員を派遣し、概ね年に1回以上の参加しながら職業能力向上に努めています。   |                      |   |
| 11                               | 20   | ○同業者との交流を通じた向上<br>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている       | 市内のグループホーム連絡協議会の研修会等に参加し、交流を図っています。また、職員の一部は他事業所の知人とホームの運営状況等の情報交換を行ないながら、利用者のサービス向上に取り組んでいます。                    | ○                    | 職員は、研修等を通じて同業者との交流がありますが、さらに、事業所の相互訪問により、ホームの運営や利用者へのサービスに反映させるよう期待します。 |
| <b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>      |      |   |   |                      |   |
| <b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b> |      |   |   |                      |   |
| 12                               | 26   | ○馴染みながらのサービス利用<br>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | ホームの地階は小規模多機能事業所のため、同所を経験して入居する利用者には問題はありません。新規の利用者には、事前に見学していただき、状況によっては食事を共にしたり、宿泊の場合もあるなど、馴染みながらのサービスを実施しています。 |                      |   |
| <b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b> |      |   |   |                      |   |
| 13                               | 27   | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている                        | 職員は、利用者と一緒に裁縫、調理、畑作業を行ない、サービスを行なう側の一方的立場にならないよう配慮しています。このため、ホーム内では利用者と職員が生活を共にする家族的雰囲気があります。                      |                      |   |

| 外部評価                                  | 自己評価 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ○印<br>(取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|---------------------------------------|------|---|--|----------------------|-----------------------------------|
| <b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>    |      |   |  |                      |                                   |
| <b>1. 一人ひとりの把握</b>                    |      |   |  |                      |                                   |
| 14                                    | 33   | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している  | 利用者は、自分の思いや意向を表現しないことが多々ありますが、日常生活の変化や表情、会話などから把握するようにしています。把握が困難な場合でも、押しつけることなく利用者本位のケアサービスに努めています。         |                      |                                   |
| <b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b> |      |   |  |                      |                                   |
| 15                                    | 36   | ○チームでつくる利用者本位の介護計画<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している     | 作成した介護計画は、ミーティング等で職員全員の共有となっています。さらに、利用者一人ひとりについての様子を「気づきノート」に記録し、これを参考にし、毎朝のミーティングでも話し合いながら、ケアサービスを実施しています。 |                      |                                   |
| 16                                    | 37   | ○現状に即した介護計画の見直し<br>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | 利用者の介護計画は3ヵ月毎に定期見直しを実施していますが、ADLの低下、認知度の進行等が目立つ場合は、医療機関とも相談しながら、その都度介護計画を見直し、家族へも新たな計画を説明しています。              |                      |                                   |
| <b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>              |      |   |  |                      |                                   |
| 17                                    | 39   | ○事業所の多機能性を活かした支援<br>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている                                   | 利用者の通院や美容院への送迎、運営法人内施設の合同イベント実施、住民の方々の相談受け入れ、利用者のショッピング、外食、花見などの外出等と様々な支援を実施しています。                           |                      |                                   |

小樽市 あすなるの家

| 外部評価                               | 自己評価 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ○印<br>(取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------------|------|---|--|----------------------|-----------------------------------|
| <b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b> |      |   |  |                      |                                   |
| 18                                 | 43   | ○かかりつけ医の受診支援<br>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している             | ホームの協力医療機関による定期診療や往診があり、休日や夜間も急変時に対応可能となっています。協力医療機関以外の受診も可能で、利用者や家族の要望に応じてホーム車両で送迎しています。  |                      |                                   |
| 19                                 | 47   | ○重度化や終末期に向けた方針の共有<br>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | ホームは、重度化や終末期における方針を明確にしており、利用者の入居時に家族へ説明して了解をいただいています。職員もミーティング等で重度化や終末期の方針について共有しています。    |                      |                                   |
| <b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>   |      |   |  |                      |                                   |
| <b>1. その人らしい暮らしの支援</b>             |      |   |  |                      |                                   |
| <b>(1)一人ひとりの尊重</b>                 |      |   |  |                      |                                   |
| 20                                 | 50   | ○プライバシーの確保の徹底<br>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない                          | 職員は、利用者へのケアサービスや言葉かけの際に誇りやプライバシーを損ねないように十分配慮しています。また、訪問者名簿や各種記録なども個人情報保護に留意しながら適切に管理しています。 |                      |                                   |
| 21                                 | 52   | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している            | 職員は利用者一人ひとりのペースを尊重し、無理に行動を起こさせないように配慮しています。利用者がその日一日をどのように過ごしたいかを把握しながら支援しています。            |                      |                                   |

小樽市 あすなるの家

| 外部評価                                 | 自己評価 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ○印<br>(取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|--------------------------------------|------|---|---|----------------------|-----------------------------------|
| <b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b> |      |   |   |                      |                                   |
| 22                                   | 54   | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている    | 調理や配膳などの食事準備、食後の後片付けなど利用者と職員が一緒に行なっています。利用者と職員は一緒に同じ食事をとり、食事中も明るく話し合いながら、楽しく過ごしています。                            |                      |                                   |
| 23                                   | 57   | ○入浴を楽しむことができる支援<br>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している   | 入浴は、原則として週2回、火・金曜日の午前・午後に利用者の希望時間も考慮しながら実施していますが、要望により規定日以外も入浴可能です。身体の汚れなどは、入浴時間外の場合はシャワーや清拭で対応しています。           |                      |                                   |
| <b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b> |      |   |   |                      |                                   |
| 24                                   | 59   | ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 利用者の身体状況や能力に応じて調理や掃除、畑作業など役割を持っています。ホーム内では習字、塗り絵、折り紙、ゲームなどやボランティアによる歌や踊りを楽しんでいます。                               |                      |                                   |
| 25                                   | 61   | ○日常的な外出支援<br>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している                   | 日常的に利用者の体調に配慮しながら、ホーム周辺の散歩やショッピングに出かけ、年間計画で車両による外出もしています。また、敷地内に飼育している犬、ウサギ、鶏の世話や畑作業など、利用者ができるだけ戸外に出るよう支援しています。 |                      |                                   |
| <b>(4) 安心と安全を支える支援</b>               |      |   |   |                      |                                   |
| 26                                   | 66   | ○鍵をかけないケアの実践<br>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる          | 職員は施錠による利用者への影響を理解しており、日中の時間帯は、ホーム玄関、ユニット入口に施錠はありません。利用者が外出希望の時は職員が付き添って支援しています。                                |                      |                                   |

小樽市 あすなるの家

| 外部評価                              | 自己評価 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ○印<br>(取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)                         |
|-----------------------------------|------|---|--|----------------------|---|
| 27                                | 71   | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている                                | 避難訓練は、年2回消防署の指導をいただきながら定期的実施し、消防署の自衛消防訓練にも参加しています。運営推進会議においても避難訓練の必要性説明と周辺住民の方々の協力を要請しています。                              |                      |   |
| <b>(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b> |      |   |  |                      |   |
| 28                                | 77   | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている                                   | 利用者一人ひとりのチェック表によって食事量や水分量を毎日記録しています。献立は調理委員会で栄養バランスに配慮しながら作成しています。   | ○                    | 食事の栄養バランスは、過去の経験から適正に保たれていますが、定期的に栄養士によるカロリーチェックを今後期待します。 |
| <b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>    |      |   |  |                      |   |
| <b>(1) 居心地のよい環境づくり</b>            |      |   |  |                      |   |
| 29                                | 81   | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | ホームは自動換気装置を設置しており、浴室は檜の浴槽、食堂兼居間には加湿と除菌の機器により安心して健康的に過ごしています。居間の壁面には季節の飾りや作品、床には植物の鉢植えなどもあって家庭的な雰囲気の中で利用者は快適な暮らしを楽しんでいます。 |                      |   |
| 30                                | 83   | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている                   | 入口に暖簾を飾った居室は、明るく十分な広さがあります。利用者は自分の馴染みの調度品等を自由に持ち込み、居心地良く暮らしています。   |                      |   |

※  は、重点項目。